どきどき いっぱい

キンダーブック3 12月号

表紙の絵から

大福や羊羹などの和菓子を宇宙に見立てました。それぞれの和菓子の形を生かして、ロケットや星、宇宙人などを表しています。「和菓子はどういうお菓子か知っているかな？」などと問いかけて、自然コーナーにつなげてもよいですね。



わがしクッキング

しぜん
観察力を養い
探究心を育む

ねらい 白玉だんご作りをとおして、和菓子への興味関心を高めましょう。

誌面の和菓子をじっくりと観察します。「和菓子の名前を知っているかな？」「どの和菓子を食べたことがある？」などと問いかけ、お互いの意見を伝え合いましょう。和菓子の原材料について紹介するとさらに関心が高まります。





白玉だんごの作り方を紹介します。白玉粉はもち米から、あんこは小豆と砂糖から作られていることなど、原材料についても伝えます。オリジナルのスペシャル白玉などを考えて、発表し合ってもよいですね。

できあがった白玉のおやつを見てみましょう。「どれを食べてみたい？」「どんな食感がするのかな？」などと話し、食への関心を高めます。和菓子と洋菓子の違いについて話し合い、さらに詳しく調べてもよいですね。



エンターテイナー

しゃかい
社会のしくみや
仕事を知る



ねらい エンターテイナーの仕事を知り、お客さんを楽しませるための思いや工夫に気づけるよう、話し合いましょう。

つかい方のヒント みんなを楽しませるために、さまざまなことを考え、工夫していることに注目しましょう。人を楽しませるためには、自分が楽しむことがたいせつだと気づけるとよいですね。

ばいきんで あぶない！

あんぜん
自分の身を
守る力を高める



ねらい 感染症予防について、改めて確認し習慣づけます。

つかい方のヒント 冬は感染症が流行する季節です。この時期に改めて衛生への意識を高めていけるとよいですね。感染症にかからないために、咳エチケットや戸外から帰ってきた後のうがい、手洗いの正しい方法について、絵探しを楽しみながら確認しましょう。

「キンダーブック3」を保育にご活用ください！

おはなしコーナーは、冬ならではのお餅のお話です！



絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
しぜん 観察力を養い 探究心を育む 「わがしクッキング」	●和菓子の種類や名前を知る。 ●白玉粉の感触や変化を楽しみながら、友だちといっしょに白玉だんごを作る。	●和菓子について知っていることを伝え合う機会を設ける。その後に和菓子の知識を伝えて興味を広げる。 ●栄養士と連携して調理計画を立てる。子どもたちが道具などを準備できるよう、料理の絵本なども用意する。 ●茹でる工程では、子どもが熱湯にふれないよう安全面に配慮する。	健康 人間関係 環境 言葉	●健康な心と体 ●協同性 ●思考力の芽生え ●言葉による伝え合い
しゃかい 社会のしくみや仕事を知る 「エンターテイナー」	●エンターテイナーの仕事内容や、人を楽しませるための工夫について知る。 ●友だちといっしょにエンターテイナーになりきって、みんなの前で発表する。	●「どうしたら見ている人が楽しくなるかな？」と問いかけ、人を楽しませる工夫を考えられるように話を進める。 ●みんなを楽しませるためにはどうしたらよいか、子どもたちにアイデアを出し合ってもらう。 ●必要な道具を子どもたちが作れるよう環境を準備する。	人間関係 言葉 表現	●協同性 ●社会生活との関わり ●思考力の芽生え ●言葉による伝え合い ●豊かな感性と表現